

F.T. Report

Vol. 3

理事長挨拶

日ごろから格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

会員の皆様をはじめ、当財団の活動にご賛同いただいているすべての方々のおかげをもちまして、3年目を迎えることができました。

心より厚くお礼を申し上げます。

昨年、会報をお送りした際には、新型コロナウイルス騒動がここまで続くとは思っておりませんでした。しかしながら、1年経験したためか、当財団の業務上はそれほどの混乱もなく、WEB会議等で会員の皆様と直接のお打合せをいたして、業務を進めることができたことは幸いでした。

さて、この1年間は、業務を進めながら活動内容の整理を行って参りました。その結果、福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター（TRセンター）が推進してきました福島復興事業の1つである「福島医薬品関連産業支援拠点化事業（福島事業）」で、独自に開発した「病原体に対する抗体取得技術」を用いて、病原体に対する抗体を遺伝子という形で網羅的に取得し、『未来のパンデミックに備える』ということが、大きな目標になりました。

当財団のこれからの主な活動内容を以下のように整理します。

1) 将来のパンデミックに備えるために、病原体に対する抗体遺伝子の網羅的取得およびそれらの備蓄

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは未だに終息しておりませんが、より深刻なパンデミックは将来いつ起こってもおかしくありません。パンデミックが起こってから準備では、今回の新型コロナウイルス感染症のように長期化してしまいます。パンデミックが起こる前に病原体に対する抗体遺伝子を網羅的に備蓄しておくことで、新たな感染症の原因となる病原体を中和する抗体を迅速に選択することが可能となり、早期の終息が見込めます。

2) 福島医薬品関連産業支援拠点化事業の研究成果・知財・技術の移転・活用・普及活動

東日本大震災からの福島の復興に向けた事業が、福島県立医科大学を中心に進められています。その事業の1つである福島事業では、国民の健康に関係する様々な研究成果（新型コロナウイルスに対する抗体を含みます）が生まれています。当財団では、福島事業の研究成果や知的財産を社会に還元する橋渡しをしています。これらの成果が製薬企業や検査・診断薬企業等で有効に活用されることで、医薬品関連産業の経済活動が活性化され、ひいては国民の健康維持に繋がります。

3) 国民の健康増進および日本の科学技術の進歩のための研究・教育活動

当財団では、国民の健康増進に貢献する研究（感染症、アレルギー、がん等）を継続いたします。また、それらの研究内容を国民にわかりやすいように公開し、一般向けの研究会や講演会を開催いたします。さらに、若手研究者向けに、研修会、勉強会、情報交換会等を開催し、日本の科学技術の進歩に貢献いたします。

今後も、当財団一丸となり、さらなる飛躍ができるよう精進して参ります。

変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

沿革

福島 TR 財団

令和 2 年	2 月	福島県福島市に一般財団法人として本部設立
	5 月	研究開発部を設置
	9 月	事業戦略部設置により受託試験開始 新役員追加就任（評議員 1 名、理事 2 名）
令和 3 年	3 月	東京オフィスを開設
	9 月	YouTube チャンネルを開設
	12 月	品質保証室を設置
令和 4 年	1 月	法人名・ロゴマークを商標登録

福島事業

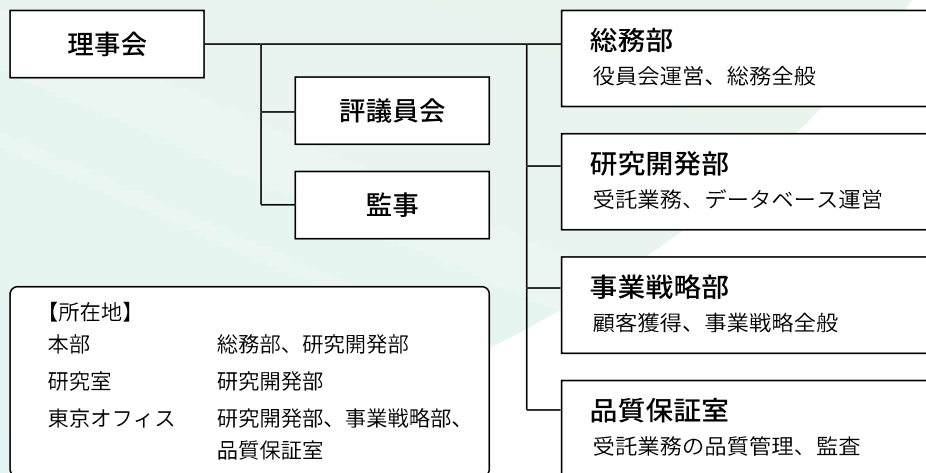
4 月	福島事業第 2 期の開始
11 月	浜通りサテライト（研究所）を開所
12 月	福島県の企業であるゼファー* から IgA 抗体マスク、 いちい* から IgA 抗体スプレーを販売開始 IgA 抗体マスクが第 7 回ふくしま産業賞 銀賞を受賞
4 月	英国 Cancer Research UK の関連機関 CancerTools.org とがんモデルの販売に関するパートナーシップを締結

* 株式会社ゼファー、株式会社いちい

組織・部署

	人数 (役員兼務)
評議員	4
理事・監事	7
総務部	4 (1)
研究開発部	6
事業戦略部	3 (1)
品質保証室	2 (1)
計	23

令和 4 年 7 月現在



受託体制の変更について

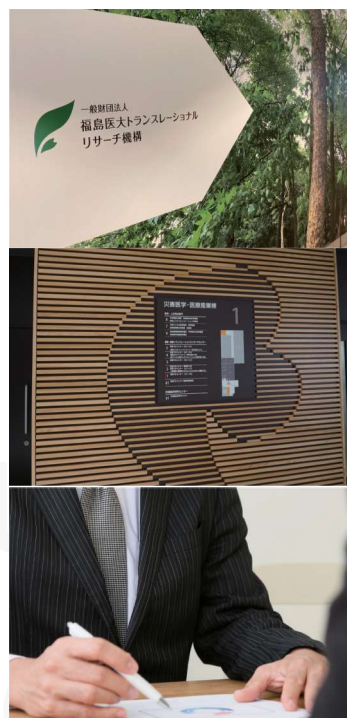
一昨年度より開始した受託試験につきまして、多数の企業、研究機関からお問合せをいただき試験を受けて参りました。おかげさまで昨年度は120件を超える試験を受注いたしました。1年を通じて繰り返しご利用いただいたお客様もおられます。福島事業の認知が広がっていることを日々感じております。これまでお問合せいただきました皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

理事長挨拶にもございました通り、今後は当財団の活動内容を3つの柱に絞り、進めて参ります。これまでと変わらず受託試験をご利用いただくため、福島事業の受託体制を変更することとなりました。当財団が担当してきた受託試験は、TRセンター発ベンチャー企業、福島事業を支援いただいている企業に引き継ぎいたします。

受託試験の提供体制は変更となりますが、今後も福島事業の受託試験は継続して実施いたします。是非ともご活用ください。

※試験の内容により担当機関が異なります。詳しくは右ページをご確認ください。

今後、当財団は、情報公開、ライセンス、コンサルティング等の事業に力を入れて参ります。福島事業の成果物をより広くご活用いただけるよう努めて参りますので、今後ともご愛顧いただけますと幸いです。



受託試験窓口機関

当財団の体制変更に伴い受託試験の窓口が変更となります。
試験ごとの担当機関は下記をご確認ください。

■ 福島セルファクトリー株式会社

ホームページ <https://f-cell-f.com/>

ピアコアによる相互作用解析	フローサイトメトリーによる解析
タンパク質マイクロアレイ	細胞保管・細胞培養とストック作製

■ 富士フイルム和光純薬株式会社

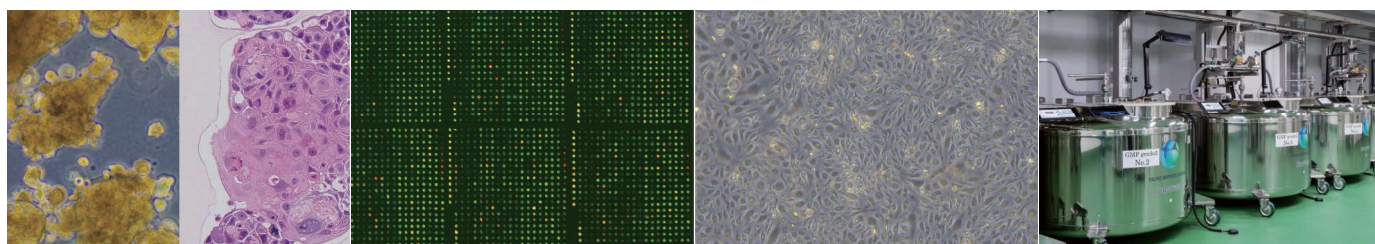
ホームページ <https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/index.html>

F-PDO® や F-PDX®, 遺伝子強制発現細胞株を用いた in vitro アッセイに関する受託試験

■ ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

ホームページ <https://www.jax.or.jp/>

F-PDX® を用いた受託試験



入会情報

令和4年7月現在、43の法人様にご加入いただいております。また、昨年より提供を開始したカタログのユーザー登録について
もご好評をいただいております、これまでに130名を超える方々にご登録いただきました。

ゲストアカウントを使用したデータベース説明会も実施しております。是非ともお問合せください。

■ 会員

会員種別	細胞検索システム	抗体評価データベース	福島コレクションアーカイブ※
一般会員 A	○	○	○
一般会員 B	○	○	○
一般会員 C	○	—	○
一般会員 D	○	—	○
賛助会員	—	—	○

※ 福島事業の刊行物や発表資料等を閲覧いただけます。

■ ユーザー登録 (無料)

ホームページにてご登録いただくと、下記のサービス
をご利用いただけます。

【利用可能なサービス】

- ・ F-PDO®, F-PDX® のカタログ閲覧
- ・ 検体情報 (病理組織所見等)
- ・ HE 染色、位相差、元腫瘍の画像
- ・ 遺伝子発現解析等の解析状況
- ・ 遺伝子発現のクラスター解析結果

Facebookでも様々な情報をお知らせしています。

是非ともご活用ください。

<https://www.facebook.com/Fukushima.TR/>



会員募集

当財団では、取り組みにご賛同いただける法人様、個人様の入会をお待ちしております。
詳しくは当財団ホームページをご確認ください。

福島 TR 財団

検索

財団情報 Information

■ 一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構 本部

住所 〒960-8031
福島市栄町1番35号 福島キャピタルフロント7-4
TEL/FAX 024-573-6083
Eメール fukushima.tr@ftrf.jp
ホームページ <https://ftrf.jp/>



■ 研究室

住所 〒960-1247
福島市光が丘1番地 災害医学・医療産業棟2階 210号室
TEL 024-572-7125

■ 東京オフィス

住所 〒103-0023
東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング5階 506号室
TEL 03-6225-2971

お問合せ Contact

TEL 03-6225-2971
Eメール sales@ftrf.jp
ホームページ https://ftrf.jp/contact_2/



【お問合せスキーム】

